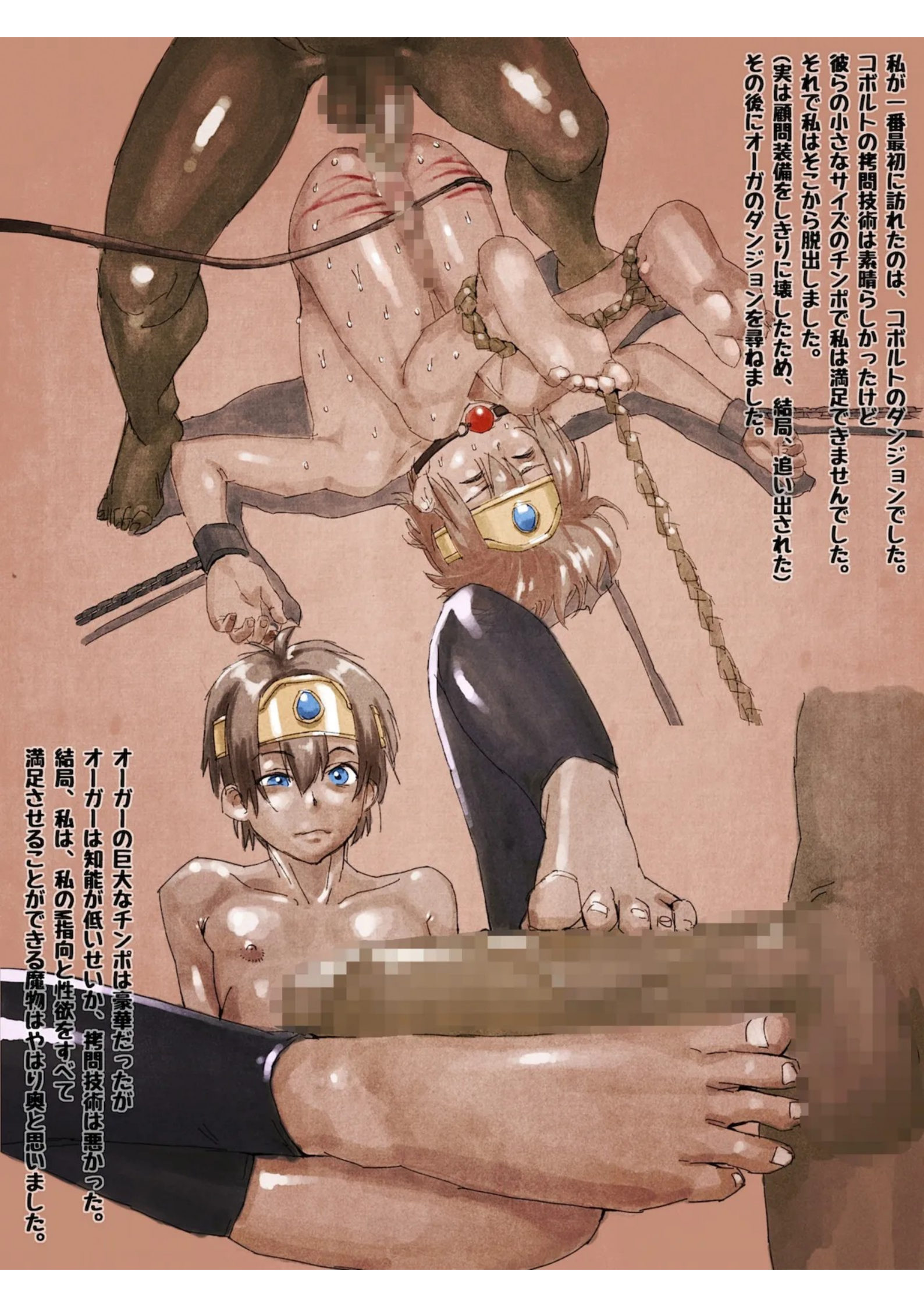


肉食勇者はMだよ

AMAKUSA
HIROSHI





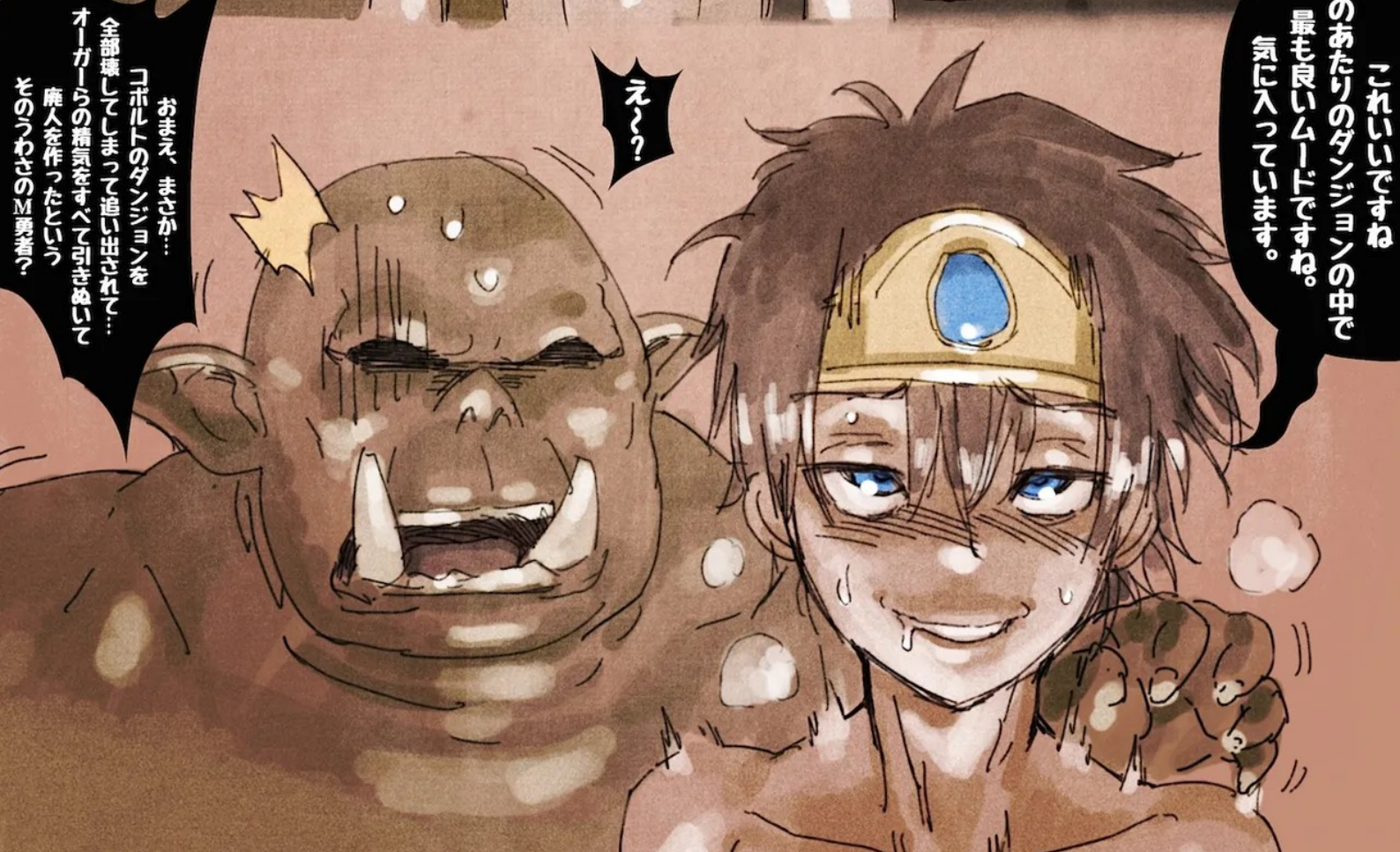
私が一番最初に訪れたのは、コボルトのダンジョンでした。
コボルトの拷問技術は素晴らしかったけど
彼らの小さなサイズのキンポで私は満足できませんでした。
それで私はそこから脱出しました。
(実は顧問装備をしきりに壊したため、結局、追い出された)
その後オーガのダンジョンを尋ねました。

オーガの巨大なキンポは豪華だったが
オーガは知能が低いせい、拷問技術は悪かった。
結局、私は、私の志向と性欲をすべて
満足させることができる魔物はやはり奥にいました。



「うーん」

「ここでおまえを拷問するんだ。さあ、恐怖に戦慄してもよい。」



「え?」

「これいいですね
このあたりのダンジョンの中で
最も良いムードですね。
気に入っています。」

「おまえ、まさか...
「ホルトのダンジョン」を
全部壊してしまっただけ出されて...
オーガラの精気をすべて引きぬいて
麻人を作ったという
そのつわものM勇者...」



そのように評価するかのようじっとみないください
おまえ方が捕虜なのになぜそんなに厚かましいで…



オークやつら元々こんなに小さかったのか？
失望ですよ。

ひっ!?

お…おい、ちょっと！
そんなに振って浴びせれば壊れますよ！
いやいや、彼よりおまえ股間で血が…

これいい！いいよ！
オークはチンポが小さいが
手先が器用でいいですね！

さあーそれでは今回は、
むちお願いします♥

あ…うん…わかった…
お揃い男だ…

ドキドキ



フル・ヒル(勇士専用最強の回復スキル)

私は卑劣なモンスターたちに拷問される悲惨な勇士！
ああ…テンションが上がる！



あの、ちょっと休んでからしたらだめかな？
おれ…これ以上腕が動かない；



催淫剤の効果があるオークの定額あげるから
これ食べて、睡眠をちょっとさ…お願いよ；



勇士よ、あなたが私たちの
ダンジョンをまるで遊園地の
ように考えるのは知っている。
オークの王として非常に不愉快だ
しかし私の力では君を
処刑することはできず、あなたを
拷問しているのも全然ためだから……

私たちオークは君を手にもえないよ。
悔しいけどこの辺で君を解放する。
人間たちが住んでいるところへ
戻って行きなさい。



出口は
あちらです……



解放!?





すっくと

クソッ

それがどういうことだ！
このほか王が！
自尊心もないですか？
せつかくの勇士が

捕虜になったのに
オークとしての
自覚がないんですか。

だけど…きさま不潔の肉体に
回復能力もリコンシェルベルなのに
私たちが何をできるか…
お願い、帰れ…





ひいひいひいひい！
アツツ！アツツ！

ああ…
その拷問だけは…
はあ、はあっ！
こ…こや…

ひっ！肛門を…
そんなことで！
ひどい！

あああっ！
いだいいっ！